

LESSON 35

ご提示いただいたソースに基づく、内科病棟の2年目看護師（佐藤さん）から山田看護部長へ宛てた「夜勤業務に関する改善要望」のまとめは以下の通りです。

この提案は、夜勤明けに常態化している2〜3時間の残業を減らし、スタッフの心身の負担を軽減することで、最終的に患者さんへのケアの質を向上させることを目的としています。

主な課題と要望は以下の4点にまとめられます。

- ・ 申し送りの効率化（時間短縮）

現在、夜勤開始時の申し送りに1時間〜1時間15分近くかかっています。引き継ぎ記録と口頭説明が重複しており、記録をそのまま読み上げている時間が長いことが原因として指摘されています。他院では15分で終わる事例もあることから、根本的な見直しによる効率化が求められています。

- ・ 紙と電子カルテの二重入力解消

紙の記録と電子カルテへの二重入力が続いており、人手の少ない夜間に30分以上の時間を要しています。システム上の問題（仕様）とされていますが、患者の観察時間が削られているため、解決が望まれています。

- ・ 薬剤管理（与薬準備）のチェック方法の確立

夜間の与薬準備時の確認方法（声出し確認、黙視、チェックリストの使用など）がスタッフ間で統一されていません。各々のやり方でミスを防いでいる側面もあるため一概には言えないとしつつも、詳しい担当者に現状を判断してほしいと要望しています。

- ・ 夜間呼び出し対応の優先順位のルール化

急変対応とナースコールが重なった際、2人夜勤の体制では限界が生じています。人員増加が難しい現状を理解した上で、各自の判断による不安をなくすために、対応の優先順位に関するルールを明文化してほしいと求めています。

提案者は具体的な解決策までは提示できていないものの、限界を迎つつある現場の切実な声としてこれらの問題を報告しています。

この内容をもとに、共有用の正式なレポート資料やスライドを作成しましょうか？